

## 既調合珪藻土塗り標準仕様書

## 1 材料、下地、調合、塗り厚、工程及び工法について

## 1-1 適用範囲

本仕様書は、既調合珪藻土を内壁および天井に塗り付ける珪藻土塗りに適用する。

## 1-2 材料

- (a) 珪藻土は、JIS A 6904（石膏系）JIS A 6909（石灰系）による。
- (b) 既調合珪藻土は、水を加える前の状態で成分表にて樹脂（有機質分）16%以下のものを使用する。
- (c) 専用下塗り材は既調合珪藻土製造業者の仕様による。
- (d) 水は、水道水を使用する。
- (e) 顔料は、特記のない場合は、耐熱・耐アルカリ性の無機質のものを主原料とし、日光の直射や100℃以上の温度によっても変色が少なく、金物を錆びさせないものとし、実績・信頼できる資料等で品質の確認されたものとする。
- (f) その他、材料については製造業者の仕様による。

## 1-3 下地

既調合しっくい塗り標準仕様書 2-3-C 参照。

## 1-4 調合、塗り厚及び工程

既調合珪藻土仕上げの工程、調合および各塗り厚は、メーカー仕様による。

## 1-5 工法

- (a) 材料の練り混ぜ  
メーカー仕様による（着色があり配合注意）
- (b) 専用下塗り材塗り  
メーカー仕様による。
- (c) 上塗り  
メーカー仕様による。

## 1-6 養生

- (a) 塗り作業中は、できる限り通風をなくす。塗り付け後は水引き具合を見て徐々に適度の通風を与え、塗り面を自然に乾燥させる。
- (b) 施工地の最低温度が3℃を下回る場合は、採暖等養生し施工する。